

令和2年5月20日

◎桑名委員長 ただいまから、新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会を開会いたします。

(13時00分開会)

◎桑名委員長 本日の委員会は委員長報告の取りまとめでございます。

なお、委員長報告の取りまとめの前に、前回の委員会において委員の皆様から出ました意見をもとに修正した活動報告書をお手元にお配りしてありますので御確認をお願いします。

小休にいたします

(小休)

◎ 前回、御意見をいただきましたのが1ページ概要のところ、上から4段目ですが、皆さんの意見もいただいて、要請内容の検討を行ったというところですよ。

この各委員、全議員の意見、会派という表現がどうかということだったんで。

◎ 会派という言い方がどうかということだったんですが、全議員が所属するそれぞれの会派が意見を持ち寄った上で委員がここで発言していくことで、「各委員の意見」でいいと思います。それと質疑は、議案に対して行うものが質疑ですけど、聞き取りとか調査に対しては質問になるんで、「各委員の意見などを集約し」でいいかなと。

◎ それでは、「各委員の意見などを集約し、県への要請内容の検討を行った」とさせていただきます。

次が8ページ、「現在、雇用調整助成金の相談はふえているが、現状は顧客への対応の業務が」云々というところを追加しております。

この2点であったと思いますけども、よろしいですかね。

◎桑名委員長 正場に復します。

それでは委員長報告の取りまとめについて行います。

委員長報告の文案については、お手元に配付してありますのでこの内容の検討をお願いいたします。

委員長報告案を書記に朗読させます。

◎書記 それでは朗読させていただきます。

「新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会」が付託を受けた「新型コロナウイルス感染症対策の調査」について、4月6日から5月20日の間の調査活動の報告をいたします。

まず、調査活動の経過についてであります。

委員会設置後、直ちに高知県内における現状及び要望等について、民間団体などから精力的に聞き取り調査を行いました。

その後、執行部から県の取り組み状況について、また、民間団体からの要望に対する方向性などについて説明を受けました。

次に、これらの調査結果を踏まえて、令和2年4月24日に高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長である濱田知事に「令和2年度補正予算等における今後の新型コロナウイルス感染症対策に関する要請」を行いました。

今回、これまでの委員会の活動について、活動報告書としてお手元に配付してあります。それでは、活動の概要についてご報告いたします。

まず、当委員会は新型コロナウイルス感染症による影響等について、医療・福祉関係機関や観光業を含む11の団体などから4月8日及び10日に聞き取り調査を行いました。

その主な内容は次のとおりであります。

「高知県信用保証協会」から、当初は飲食業と宿泊業からの相談が大半を占めていたが、最近では、小売業、卸売業、運送業など多岐にわたっている。

自己資金でやりくりしている中小企業が多いが、この状況が長引けば融資を希望する事業主がふえてくるとの説明がありました。

「高知市商店街振興組合連合会」から、助成金は使いやすい制度だが、現金が入るまでタイムラグがあり、小規模店舗はもたない可能性がある。

また、イベント関係についても、観光客や歓送迎会等の需要がなくなり、今後、よさこい祭りなどが中止となれば落ち込みは想像できないほど大きいとの説明がありました。

「高知県旅館ホテル生活衛生同業組合」からは、新型コロナウイルスの感染拡大と、政府のたび重なる自粛の延長要請による宿泊客の激減や、歓送迎会などの宴会中止に伴う収入減により、かつてないダメージを被っている。自助努力での経営継続には限界があるため、休業、廃業、倒産が現実味を帯びてきているとの説明がありました。

「高知県医師会」からは、感染の不安による受診控えなどのため患者数が減少している。感染予防や学校休校による休暇対応等により医療スタッフの十分な体制がとれていない。スタッフの精神的な疲労も蓄積しているとの説明がありました。

「高知県バス協会」からは、路線バスの赤字を高速バス、貸切りバスの売り上げで補填していたが、売り上げ激減により赤字が累積し、地域の足を守ることが困難となるおそれがある。

運送収入も減少の一途をたどり、運転資金の確保が非常に厳しく先が見通せない状況で廃業のおそれもあるとの説明がありました。

「高知県農業協同組合中央会」からは、観光客の減少やイベントの中止等により需要が

落ち込み、農畜産物の価格の下落が起きている。

品目によっては、出荷調整を実施しているが、今後は生産調整の実施も想定している。生産者は受給バランスの崩れによる所得減少を危惧しているとの説明がありました。

「高知県宅地建物取引業協会」からは、収入減による賃料の支払いが困難となっているテナントや民間賃貸住宅に居住している方への影響等について説明を受けました。

「高知県社会福祉協議会」からは、休業等により生活資金に窮することになった方からの生活福祉資金特例貸付の申し込みが急増しており、他部署からの増員を含め速やかに対応できるよう努めているとの説明がありました。

「高知県社会福祉法人経営者協会」からは、今のところ高知県下の社会福祉法人の経営が困難との報告はないが、将来的に経営に影響が出てくると営業自粛という形をとらざるを得ない状況も出てくるのではと心配している。

各施設では感染症対策を万全にし、利用者を罹患させてはならないという気持ちで業務を行っているが、施設の広さにも限りがあり、三密を避ける工夫も限界があるとの説明がありました。

「飲食業関係者」からは、どの事業者も非常に厳しい状況で、4月に入って特に厳しさが増している。

自粛要請以降は客足が途絶え、自主的に休業している店も多数あるが、この状況が長引けば、閉めることになる店も多数出てくることが懸念される。

補助金などの制度がわかりにくい上に周知が十分でないため利用しづらいほか、無利子とはいえ融資は借金になるため利用についてはちゅうちょしているとの説明がありました。

「高知県社会保険労務士会」からは、飲食店や宿泊業を含む観光関係からの雇用調整助成金の問い合わせが非常にふえているとの説明がありました。

次に、県執行部から、4月16日と17日に新型コロナウイルス感染症対策に関する現状、課題及び現在の取り組み状況や、11団体などから出された要望に対する県としての方向性等について説明を受けました。

こうした調査結果を踏まえ、4月24日に高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長である濱田知事に対して、令和2年度補正予算の編成に当たっては、国からの交付金の有効活用のほか、県の財政調整的基金の取り崩しや予算の組みかえの検討など財源の確保に努め、さらに市町村との連携を密にして迅速かつ的確に対応し、不安を抱える県民を一人も取り残すことなく政策を実行するよう要請書を提出しました。

要請書の主な内容は、次のとおりであります。

最初に、「感染拡大の防止」における「マスク・消毒液等の供給不足改善」についてであります。

感染拡大を防ぐためには、医療機関や社会福祉施設、教育機関、公共交通機関等での感

染防止対策が重要であるが、経済活動や社会基盤を維持するためのありとあらゆる場においてマスクや消毒液等の不足が続いている。

事態の長期化も見据え、さらなる感染拡大の防止に向け、引き続きマスクや消毒液等の迅速かつ安定的な確保と供給に努めること。

次に、「検査体制の強化と感染の早期発見」であります。

感染の早期発見のためには、必要な場面でPCR検査が確実に実施されることが重要であり、検体採取とPCR検査の両者をしっかりと行える体制を整える必要がある。

これまでも県衛生環境研究所のPCR検査体制は強化されてきたが、現在も感染拡大が続いていることから検査体制を一層強化するとともに、必要な方に柔軟な対応を図ること。

次に、「新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制の強化」であります。

今後、感染が拡大したとしても医療崩壊を起こすことなく、患者の病状に応じた適切な医療が行われ、医療従事者が安心して治療に専念できるよう、医療資器材の確保や病床確保など医療体制の強化を図ること。

次に、「医療機関への支援」であります。

院内感染を防止するための設備資金や、医療従事者の感染による休診や病棟の閉鎖など事業の停止による経営の悪化を危惧することなく、医療活動に専念できるよう対応するとともに、国に対して財政支援を求めること。

次に、「県民への啓発の強化」であります。

県内では日々感染者が確認されるなど、県民は自身や家族への感染の不安にさらされている。さらに、感染による差別や風評被害の発生も危惧される。

県民の命を守るため、また感染者やその家族、治療に当たる医療従事者等関係者へのいわれなき偏見や差別を防止するため、感染についての正しい理解が進むようさらなる対策を講ずること。

次に「家庭への支援」における、「世帯収入減少への対応」であります。

休業などによって世帯収入が減少し、生活福祉資金の特例貸し付けの申し込みが急増しており、感染拡大が長期化すると償還困難者の増加も懸念されることから、生活福祉資金償還免除の要件緩和や拡充を図ること。

また、学生においてはアルバイト収入や仕送り額等の減少といったことも懸念され、経済的理由により学業を断念することのないよう対策を検討すること。

次に「臨時休業中の児童・生徒への対応」であります。

臨時休業中の児童・生徒に対する支援として、授業の動画配信、スクールカウンセラーによる電話相談などさまざまな取り組みが行われているが、今後、休業の長期化や地域の状況に応じた対応が求められることも想定されることから、引き続き支援に取り組

むこと。

次に「外出自粛に伴う家庭での健康や心のケア」であります。

感染拡大に伴い、長期に及ぶ外出自粛が続いていることから、高齢者など家庭での生活習慣が大きく変化している。運動が不足する県民や感染症に対する不安を持つ県民に対して、適度な運動を勧めることにより健康を守るとともに、心のケアを充実するなどの支援に取り組むこと。

次に「事業者への支援」における、「事業資金不足への対応」であります。

感染拡大防止のために行ってきた、たび重なる自粛の要請などにより、本県においても観光関連事業者や交通事業者等を中心に大きな影響が出ている。

現在、一定の対応策が講じられてはいるものの、事業者の中には廃業を余儀なくされるものも出てきていることから、事業の継続と雇用の確保を図るためのさらなる金融支援制度等を設けること。特に経営上深刻な影響を受けている業種については喫緊の対応策を講ずること。

次に、「生産者への支援、県産品の販路の確保等」であります。

飲食店の休業やイベント開催の自粛などにより、農畜水産物などを中心に取引が減少し、価格も低下しており、生産活動を継続するための資金供給と新たな販路の確保、需要の喚起、地産地消の取り組みを一層強化すること。

次に、「事業の継続に向けた対応」であります。

感染拡大による外出・移動の自粛などにより、飲食業界においても消費が大きく落ち込み、厳しい状況の中、休業を余儀なくされたり、業態を変更するなどにより事業継続の努力をしている。

また、福祉施設等においては、感染症対策により職員の負担が一層増加しているほか、職員への感染が発生した場合などは、関係者への心理的負担への配慮も必要となる。

県は市町村と連携し、この状況をしのぎ事業の回復への基盤を築くため、離職防止に向けた人材確保など各種事業者・団体の支援に取り組むこと。

次に、「感染拡大防止時期における災害発生時の対応」であります。

集中豪雨や南海トラフ地震など、いつ発生するかわからない自然災害に備えて、感染拡大リスクの回避のための避難行動・避難所確保・避難生活のあり方について、早急に検討すること。

最後に、事態収束を見据えた経済対策であります。

感染拡大の収束状況を十分意識しながら、宿泊業、飲食業、運輸業を初めとする特に打撃の大きい産業分野に係る需要を回復するための施策を、局面に応じスピード感を持って打ち出すことが必要である。

地域の経済活動の回復のため、時間軸を意識して関係各所の協力を求め、官民を挙げ

た大胆な経済対策を図るとともに、国に対して要望活動を行うこと。

以上が令和2年4月6日から5月20日までの「新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会」の活動であります。

当特別委員会は、今回の要請に対する取り組みを注視するとともに、国や県の施策を把握しながら、今後のコロナ禍の状況に合わせて引き続き聞き取り調査等も行い、収束に向けた施策の提案や、収束後の景気の回復に向け検討をさらに進めてまいります。

以上をもって新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会の報告といたします。

◎桑名委員長 それでは小休にします。御意見をどうぞ。

(小休)

◎ 基本的にいいと思うんですけども。もし加えるとしたら、医療従事者の処遇向上と、教育のタブレットの関係は、我々の要望が実現して今度の補正で予算化された項目なので、ちょうど書き加えられるような項目があれば加えたらどうでしょうか。

◎ タブレットと医療従事者の処遇改善は、確かに言ったことですので、入れる余地はあります。

◎ 委員長報告は大体10分程度となっておりますが、この件はすごく大事なことで、多少時間が延びたとしても常任委員会の報告とは違うんで、どこかを削るということじゃなくて、さっきのは足すと言うことで。

◎ 今、見た感じではその二つかなと思いましたが。

◎ 細かい点を何点かいいですか。3ページ目の高知県旅館ホテル生活衛生同業組合のところで、下から3行目の「収入減により、かつてないダメージを被っている」なんですけど、説明の中で「被っている」という言葉を言われたかどうかあれなんですけど、結局自粛の要請を受けた私たちは被害者だというような意味にとられかねないので、もし、その部分を確認していただいて、「ダメージを受けている」ぐらいにしたほうが、自粛は感染症を拡大させない国民の命を守るための自粛要請ですので、何かこう被害者的なものになるとどうかなと。これは「受けている」のほうが適当かなと思います。

次に、5ページ目の1番下の最後、「補助金などの制度がわかりにくい上に、周知が十分でないため利用しづらいほか、無利子とはいえ、融資は借金になるため利用についてはちゅうちょしているとの説明がありました」、これは、この飲食業関係者は団体ではなく、いろんな協会とか団体の皆さんがその中で話し合った意見を説明するというよりか、それぞれ説明に来た人の個人的な思いもあり、ただこういうことはかなりの皆さんが思っていることで、逆に、こういう制度も大変ありがたいからしっかり頑張るといふ意見の人もいるわけですから、これはちゅうちょしているということをそのまま説明

というよりは「ちゅうちょしているなどの声がよく聞かれる」とか、そこをちょっと足したほうが。

あとはそれぞれ業界とか団体としての意見の説明ということでいいと思います。

- ◎ 3ページの商店街振興組合連合会の2段落目の、この「また、イベント関係についても、観光客や歓送迎会等の需要がなくなり」というところですが、イベントと歓送迎会というのはどうなのかなと。イベント関係のよさこいの中止というのはわかるけれど。
- ◎ 逆にこれ、「イベント関係についても」をのけたらもっとすっきりするかもしれませんね。「また、観光客や歓送迎会の需要がなくなり、今後、よさこい祭りなど」と。
- ◎ それと、11ページの一番上から三行ですが、「職員への感染が発生した場合などは、関係者への心理的負担への」と、へのへのが続くので「関係者の心理的負担への配慮」でいいんじゃないかと思います。
- ◎ 3ページの商店街の「小規模店舗はもたない可能性」は、もたないと言うかな。もたないというよりは、「もちこたえられない」とか。
- ◎ 要は、タイムラグがあるから厳しいということだから、言葉を考えましょう。
- ◎ 11ページの一番下の段落で、「感染拡大の収束状況を十分意識しながら、宿泊業、飲食業、運輸業を初めとする特に打撃の大きい」。「運輸業」なんですかね。バス・タクシーはあれですけど、宅配なんかは逆に大変な忙しさなんで、それも踏まえて「打撃」というのか。
- ◎ バス・タクシーをイメージしていると思うけど、「運輸業」といったときにトラックも入ってくる。航空もダメージはあるわね。
- ◎ トラックは運送業に入るんだけどね。
- ◎ JR列車も含めてJR、運輸、バス、タクシーという形を考えています。
- ◎ 観光におけるとか。
- ◎ 宅配は運送に入る。運輸は運送とは別なのでこれでいいと思うけど。
- ◎ そしたらいいですかね。ちょっと確認しましょうか。

まず、タブレットと医療の改善は新たに入れる。

3ページ目のこの「もたない」というところは、言葉を変えて「もちこたえられない」というイメージにします。

「ダメージを被っている」というのを「受けている」とさせていただきます。

「イベント関係についても」は削除ですね。

5ページ目の下の段落で「説明がありました」というのも、「声もありました」とか「声も聞いている」というようなイメージにします。

11ページ上から3段目「関係者への」は「へ」を削除。そんなところですかね。

- ◎ さっきの二つに比べたらちっちゃい予算だと思うんですけど、ネット通販の販路を支

援しなさいというのを議会から要望してるんですが、あれも確か予算がついていたような。

◎ ありましたね。ネットのね。

◎ それは正副委員長にお任せします。

◎桑名委員長 正場に復します。

ただいま協議をしました文案により、本会議で委員長報告を行うこととします。なお細部の文案の調整は正副委員長一任でよろしいでしょうか。

(異議なし)

◎桑名委員長 御異議なしと認めます。よってさよう決しました。

そのほかに何か協議することはございませんか。

(なし)

◎桑名委員長 以上をもって本日の日程は全て終了しました。

これで本日の委員会を閉会いたします。

(13時30分閉会)